和紙のふるさと 小川町

新たな魅力、新しい発見

# おがわまちなか散歩ツアー

埼玉県比企郡小川町

## おがわまちなか散歩ツアーへの誘い

**小川**町の市街地は江戸時代に計画的に作られたものです。現在の国道254号が「秩父往還」と呼ばれ秩父方面と江戸を結ぶ通りとなりました。本町２丁目交差点からときがわ町方面に続く道は「八王子道」として、絹を主に運んでいました。このような主要な地域をつなぐ道が交差する場所に小川町があります。

**江戸**時代、秩父往還で六斎市という、1と6が付く日に市がたち、物流の拠点として大いに賑わいました。たくさんの物産がここに集まり、大消費地江戸などに運ばれていたのです。物が集まるところに人も集まり、ここに街ができたのです。

**槻川**の清らかな流れは良質で豊富な水を生み出し、今に続く和紙や地酒の産地を支えました。歴史文化に裏付けられた、盆地地形で中央に川が流れることから、「武蔵の小京都」と呼ばれる所以になりました。

**往時**の姿を変えているものもありますが、賑やかで華やかな様子が今もそこかしこに残っています。指定文化財は多くはありませんが、小川のまちなかには先祖から受け継がれた豊かな生活があります。玉手箱を開けるように、一つ一つ散策しながら探してみませんか。そこには新しい発見とワクワクがあるでしょう。水先案内員には小川町おもてなし観光案内員が引き受けます。

## おもてなし観光案内員のご案内

小川町では、小川町観光協会と連携して「おがわまちなか散歩ツアー」を実施しています。おもてなし観光案内員が普段では気づかないようなスポットをご案内いたします。案内エリア（裏面マップ内）は、小川町駅からはじまる町市街地となります。歴史ある建物や町並みを散歩してみませんか。

### おもてなし観光案内員のご利用について

**費用** 無料

**事前予約** 14日前まで

**案内時間** 9:00～16:00で随時

1時間～3時間の範囲で、案内員と相談し自由に決めることができます。

- 受付後、案内員を決定し、その後電話等で打ち合わせをいたします。
- 安全上、1チーム10名までとさせていただきます。
  それ以上の場合は2名以上の案内員で対応いたします。
- 入館料等がかかる場合はお客様負担となります。
- 昼食等のご予約はお客様ご自身でお願いします。
- 傷害保険等には加入しておりません。あらかじめご了承ください。

【お申し込み】
ホームページ掲載の申込書を記入の上、持参・ファックス・メール・郵送のいずれかにてお申し込みください。


問合せ: 小川町観光協会（小川町役場にぎわい創出課）
〒355-0392　埼玉県比企郡小川町大字大塚55
TEL　0493-72-1221（内234、235）
FAX　0493-74-2920
http://www.kankou-ogawa.com


2021.3

# 散策のキーワード

まちなか散歩ツアーのエリア内には数多くの見学ポイントがあります。
それらを9つのキーワードにまとめました。
新しい発見の参考にしてください。

## 小川和紙

小川町和紙体験学習センターは昭和11年に建築された旧埼玉県製紙工業試験場で和紙の体験学習ができる拠点施設です。かつては人間国宝の故芹沢銈介がここで指導に当たっていました。街中には店舗も含む和紙問屋も数多く軒を並べています。 D－4

## 造り酒屋



A－4

B－2

町内の3軒の酒蔵のうち、晴雲酒造と武蔵鶴酒造がそれぞれかいあります。関東灘の異名をとる酒どころ小川町には、地元のお酒を愛する「乾杯条例」があり、居酒屋や割烹料亭も多くあります。

## 絹織物



C－4

養蚕が盛んだったころ、小川からも絹製品が出荷されました。富岡製糸場開業時に工女として働き参じた青木てるや、養蚕の伝習所であった旧玉成舎が、絹のまちを彷彿とさせます。

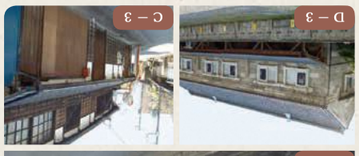
## 割烹料亭など

C－3

当時の賑わいを今に残す風情のある建物が残っています。明治維新の偉人「山岡鉄舟」ゆかりの二葉や、田山花袋も訪れた女郎うなぎの福助、風情ある萬屋旅館などが、当時の様子を伝えてくれます。

## まちの賑わい

B－3



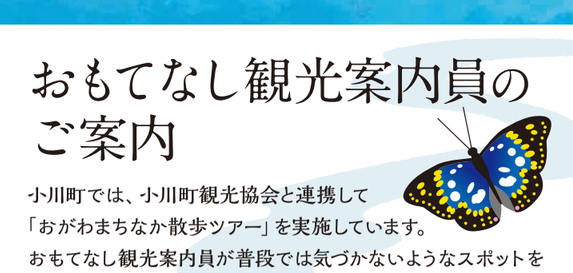
D－3



C－3

市がたった秩父往還は、その地割などで当時の様子を知ることができます。それを挟んで東西に延びる北裏・南裏通りには、さまざまな土蔵や長屋が立ち並び、往時をしのばせます。

## 豊かな清流



B－4

槻川の流れに沿って遊歩道があり水を間近に感じられます。栃本堰のあたりの親水公園には水車が回り、秋には紅葉が望えます。

## なぜ万葉集？

鎌倉時代、読めなくなった万葉集を読み解く「万葉集註釈」が仙覚律師によりこの地で書かれ、それを顕彰して「仙覚律師碑」が建てられました。その碑を巡るコース上には、万葉モニュメントが多く立っています。

A－3

C－1

## しまむらとヤオコー

皆さんご存知の「フォッシュメーカーしまむら」と「スーパーヤオコー」はいずれも小川町が発祥です。しまむらは「島村呉服店」、ヤオコーは「八百幸商店」と、いずれも秩父往還沿いにあります。

## 路傍の石塔にも

これまでの人々の暮らしは、何の変哲もない路地や灯籠や石碑も語ってくれます。ついつかりと見落としてしまうようなところにも、新しい発見があるかも知れません。

D－4

C－3

A
B
C
D
E
1
2
3
4
ひな市のにぎわい（昭和 39 年）
C－3
至寄居方面
254
県立小川高校
鶴巻公園
兜川
小川町駅
ヤオコー小川 SC
コンビニ
小川駅前交番
観光案内所
・
移住サポートセンター
至熊谷方面
兜川橋
春日公園
春日公園
芭蕉の句碑
東武東上線
リリックおがわ
至池袋方面
小川町駅（西）
道路元標
小川町役場
JR八高線
武蔵鶴酒造
全国最大級の
大谷石蔵
（サテライトオフィス）
忠七めしの
割烹二葉
七夕の
上小川神社
万葉集ゆかりの
仙覚律師碑
北裏通り
至東松山方面
本町一丁目
女郎うなぎの
福助
本町二丁目
市がたった
秩父往還
ヤオコー発祥地
町立図書館
北裏通り
小川駅入口
聖徳皇太子碑
小川警察署
旧比企銀行
栃本観音堂
（不動様）
相生町
旧萬屋旅館
往時を偲ばせる
田中家長屋
埼玉県小川和紙工業協同組合
晴雲酒造
しまむら
発祥地
南裏通り
至東秩父方面
11
30
小川町和紙体験学習センター
（旧埼玉県製紙工業試験場）
旧玉成舎
相生橋
子育て呑龍様
栃本堰
槻　川
栃本親水公園
庚申塔
小川町を育んだ
槻川の流れ
絹の道の
馬 橋
至飯能方面
至八王子方面
N
1 ：7,000
0
100
250m